

# ひのひのたより

NO.4 2016.6.29

十年少し前の頃を思い出してしまった。近所の保育園の小さな森や場所で遊ぶ子どもたちを見て、後ろに広大な森がありそれにどうして出でていけるといいんだ?と、もつていてみると感心した日。清晨で開催された母と子のマッチョキャンプでスタッフとして、自然の中で自分と向き合ってお母さんが開放されフレッシュで笑顔で子どもや家族のことを語れるようになつた姿を見た日。そのキャンプもあり道、同じくママチャレのスタッフでいたまゆさんと、「ママチャレキャンプ」にて森の中で日々の保育ができるならどうがいいでしょ。車両井戸にも素泊な木が沢山ありますよね。できるか?できるかも!」とほとんどの顔で熱く語り合つたのが2006年の秋でした。本当に極寒の車両井戸で2才児がすと冬の一日外で遊び始めたのか?とタダの不安を抱きつつも、あといつ間に場所が決まり、森の保育って理念をしつらう考えたり、田んぼや米でランチを作りたり、パンフレットはんこをつくにして…とまゆさんとパン屋さんのカフェで話し合いを重ねた日々。次の春までに「森のようちえんひのひ」が出来ずつ形になつてしましました。その時つづたない手作りのパンフレットは車両井戸で「ありがとうございます」と「ひのひ」と書かれた「の」の文革は今もずっとパンフレットに載っています。

ありのまま なき虫さん 甘えんばさん…そのままでいいよ 子どもも大人もありのままでできてください すべてはそこから始まります かけがえのない「いのち」と ていねいに向かいいます ゆったり ゆっくり過ごせるように心を配ると ゆったりした流れの中で 子どもは何をして遊ぼうか自分で考えます ゆたかな遊びはここからはじまります

ひろがる 安心してゆったり過ごすと 遊びが拡がり お友達への関心が拡がり 興味や好奇心もだんだん拡がってゆきます 大人も同じ ゆったりゆっくり みんなで色々なことを拡げてゆきませんか

わかちあい 子どもも大人も楽しいこと嬉しいこと おもしろいこと つらいこと…みんなでわかつあえたらしいな 育ちあえたらしいな 「分けると増える」という不思議 深い喜び 幸せはわかつあうことで生まれます

そして、ひのひの10年目の今年、「一般社団法人 森のようちえんひのひ」の総会資料に載せている、事業報告・事業計画にある、ひのひが大切にしてきたこと…の文章は以下の通りです。

- 自然の中で存分に遊ぶことを通じて、本来子どもが持つ可能性が引き出されることを保証すること。
- その周りにいる大人たちの、子育ての共同体作りをより確かなものにしていくこと。
- 軽井沢の豊かな自然と共生し、さらに失われつつある自然を再生していくこと。
- 地域の方にひのひの森を開放し、親子で日々ありのま自然体で過ごすことのきっかけ作りをすること。

年々子どもたちの人数も増え大所帯になってしまったが、次には素泊なスタッフが「かわってください」、一貫して保育についていつもとこんなスタッフがみんなで話し合い、このようす「大切にしてきて」と「これからも大切に続けて」と、お手にられて確認してもらえていたのは、とても幸せなことだったと思います。

そして迎えた先日の「ひのひの森まつり」の日。お泊り会とあわせて「こどもの「協力」をありがとうございました」、ひのひの10年分、(2006年分)見つけられていり、保護者の方々のコメントの一部を紹介します。

「ここにいる卒園生の子どもたちみんな、ひのひの10年が作り出した宝物。この子どもがまたひのひの!。(と卒園生たちを見回して)」「ひのひのに出会わなければなら、こんなに

子育てを楽しいと思えなかつたかも。あの吸菓子で表書きをしていたのを森本に助けられた。」「学校でいやなことがあっても「ひのひの」と見つけ出せば(ぼくは丈夫、おとこもこして(こくは卒業制作したばかり)見つかっています。」「ひのひののスタッフやお母さんたちはみんなそれどれぞれ素敵なところをもつていて、何か自分に困ったことが走ってきたとき、あの人はどうするかな、この人はどうしてくれるかな。といつもその素敵なところをちょっとずつ書いています。」「食事の献立に迷うとひのひのランチを出し、シンポジウムと見ています。」「学校の自由作文で、みんなが大きくなったらニンテ立派な人に24歳とか将来の夢とか書いていますが、うちの子は「はらりはらり」という選んであらこりの桜の木から花びらがはらりはらりと落ちる様子を作文にしてます。どうやらニンテ量かは感受性が育つのかと先生に聞かれてひのひのからです!と答えました。」「相変わらずこの森はなんて気持ちいい!(と空を見上げて)」書けば書くほどちょと子前味噌さうになってしまいますが、Tさんとうれしい言葉の数々…と10年分のありがとう見のがあふれくる一日になりました。おおわらわで作T=150人前ひのひのランチを提供するとさに、さと「手伝うよ。」と配膳に入ってくれた(ほのひの)高校年3年生たちの働きぶりは、どれもどれと青い目で見られました。まさに二の子T=2かびのひのひのです!と胸を張って言えますよT=2。そして気持ちいいT=2でした。

: 美和子

## ④ 田畠アジェイ

田んぼのアゲハは茎の数が増えて今けつ、青々と元気な育ちます。でも冬の周りでは冬草もしがみ大きくなっていますので油断は禁物。時々株間を歩いては草取りしています。根の畠のアゲハや人夢も「ひのひの」大きくなり、じゃがいもも芋を出し花を咲かせています。ひのひの森にある小竹たぬきにモモカブやいいげんが芋を出していますが、先日立くんが「大変だ!ニンテ黒い虫にモモカブの葉っぱが食べられる!」と手のひらにのせてT=11月山川の虫をT=2さん見せてくれました。今年は春先に例年より暖かい日が多かったT=2月、虫T=2の発生具合も早く多めです。手で採るのが一番T=2で、子どもT=2いい自分で探しもれています。追分の馬のラッキー厩のアゲハT=2羊小屋には、6月はじめに羊が4頭やってきました。T=2月T=2草をT=2さん食べるだけで、裏庭の草ぼうぼうT=2運動場はT=2月T=2日で丸坊主になつてしまひました。羊のメメエエヤなぐ「ハア~バア~」と鳴くんですね。見つけのほか声が大きいので、毎朝アゲハ近く迷惑でT=2ドナドナしてます。アリミの場所から来たメス3頭、オス1頭の4頭が群れとして仲良くなっています。田んぼアゲハT=2運動場に放して、田畠まわりの草をわしゃわしゃ食べもらひ、A2斜面T=23葉をT=2でくしてもらひますT=2。

: 美和子

## おおきいくみだより

おおきいくみでは 5/2に まつぼっくりでは 絵本「3ひきのやぎのがらがらどん」のお話。くり、大くりでは 絵本「ぐるんばのようらえん」のお話の劇ごっこをしました。

今日は初めて劇ごっこをしたまつぼっくりさんの様子をお伝え致します。

朝、おはようの集まりで「3ひきのやぎのがらがらどん」の絵本を読み、「このお話を劇にしてみよう!」と提案。「ちいさいやぎになりたい人?」と聞き、自分がなりたい役で手を挙げて役を決めます。一度お話をじみてやめてみると、大夢くんが「どんぐりさんに(劇を)見せてあげようよー」と発言。きと昨日 どんぐりさんだった時に おおきいくみの劇を見たことが嬉しかったのでしよう... それいいね! 今度 どんぐりさんに見せてあげることに!! この日は、帰りの集いの時にくり、大くりさんと劇の見せ合いをしました。

まずは ちいさいやぎ、2ばんめやぎ、おおきいやぎに分かれて座ります。絵本を読み進めながら、ちいさいやぎ役の 悅己くん、さくらちゃんが 橋に見立てた木の板をそー、とそー、と渡っていきます。

「だれだ、おれのはじをがたごとさせるのはー!」とトロルになれた美穂さんの低い声にピクピク...ドキドキした表情の 悅己くんさくらちゃんは「たべないでー」と小さな声で返します

次の出来は 2ばんめやぎです。晴基くんが隣りの 橙李くんに「いくよ」とい、た様子で手を取ります。橙李くんも「うん」と頷づくように立ち上ります。朝、「がらがらどんはじまりまーす!」と宣言していた碧空くんも 橋に飛び乗りました。

最後、おおきいやぎの 天音ちゃん 羽路斗くん (いろはちゃん) 穂岳くん 大夢くん 奏人くんは呼ばれて 6人一斉に立ち上がり、待てました!と言わんばかりの 遅ましい表情でドンドンと足音を立てて登場です。そして

「2ほんのやりがある!!」「これでめだまはでんがくさい!」  
大きい声が 森中に響きわたりました。



朝に一度通しただけですが、すーっと絵本の世界に入り込み、なりきって演じることがとっても楽しそうでした。また1つのお話を お友だちと共有し合うことの楽しさも感じ始めているようですよ。

私は今回初めて森の中で行われる劇ごっこを見ました。森の中では空想の世界にどっぷりと浸ることができて、表現することも躊躇なく自然に楽しめるのではないかと思いました。

ゆったりとした時が流れる ひ、ひの森で 子どもたら 1人ひとりの表現が生まれていく、その時を大事に見つめながら 1日1日を 共に歩みたいと思います

: 爰子

## お知らせ

お泊まり会・ひっぽろ森まつりが続き わ疲れました。たくさんのご協力をありがとうございました。

・お泊まり会代金を 7月分 保育料と共に 請求させていただきます。

・お天気の好的日は ひっぽろ森での水遊びが盛んになると予想されます。プールを実施もあると思われます。

濡れてもよい帽子・パンツ・タオルを一緒にして、スーパー袋に入れておいていただけます。お願ひいたします。

・7月より サポートスタッフに 鹿谷 謙さんが加わってくださいます。謙さんは ひっぽろ初期の頃にサポートして下さっていました。

- ・7月の予定  
5日(火) くるみの日。  
10日(日) 森づくり。 9時~ 午前中まで終わります。  
12日(火) ひっぽろ森開放日。  
13日(水) 保護者会 9時20分~ 手屋頃まで  
場所) バイブルメインホール  
20日(水) くるみの日  
22日(金) 一学期 最終日  
特別ランチを予定しています。

### ・森づくりについて

内容 石を埋める・間伐・枝を落とす  
持ち物 あわせ石・剣先スコップ・高枝のこぎり・チェーンソー

・7月は 身長計測があります。

### ・おわきいくみの予定

- 4日(月) 森の時間 (葉っぱのこすり絵)
- 6日(水) えりんにらい
- 7日(木) 田んぼ
- 11日(月) アート
- 14日(木) ライジング (集団遊び)
- 21日(木) 特別ランチのためのデザート作り

## 預り保育の準備を始めます

ひつひつは、「子どもにとってどうなつか」とオーディオで答えて日々の在り方を考えています。

幼児の集団保育では、心も体も5時間位がベストと感じて14時降園を大切にしています。母親同士で預かり合つて伝統が預かり保育を利用するお忙しい方へ「いつのまにか」という思いもします。ただ預けられなかったりご家族に病気の方が多いのに預けることでのせんの気持ちが体あたり……そんな時は

「保護者の方が安心でする・子時運が自然に過ごせる」

ひつひつが良いのだけと答えました。あくまでも延長保育ではなく家庭的な役割でやつを食べたりゆっくり体を休めたり……と思ってます。

これを具体化するにあたって有志の方達と相互理解を深めながらスタートに向けて動き出していくと答えました。

一緒に考えたいと思われる方は7月6日(火)午後 中澤までお知らせ下さい。有志の方が決まりましたら、集会の日を決めていきたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

## ひつひつの森のスケッチブック ~ 6月 コゲラ ~

森を散歩しているとヒヨコからコンコンコン…コツコツコツ…とまるで大工さんが斧で劈いていく音が聞こえてきました。その後パラパラパラと細かい木くずが上から降ってきて、上を見上げると道沿いの木の幹に10㌢あります。あれは、日の黒のしまようのキツツキの仲間のコゲラさんです！少しあきこも生えている枯れかけた木のコゲラはお家を造成中でした。

次の日も、いるかなあ…と同じ場所でいいと、幹に1㍍きれいに直徑3cmほどの穴が。コゲラさんいたみたいですね。突然穴から顔がみえ、ローラーにくわえた木くずをハア…と引きだし

また穴の中へ戻っていました。

